

FOCUS

追いかける。大学生。

神戸女子大

田淵 有沙さん (3年) 林 美希さん (3年)
中島 優貴さん (1年) 仲舘 礼佳さん (1年)

消防団女子

古くは江戸時代から地域の安全と安心を守ってきた消防団。昨年10月、神戸市須磨消防団に4人の消防団員が誕生した。彼女らはみんな現役の女子大生。これまでの活動を振り返りながら女子たちの本音に迫った。



女子大生消防団員になった学生ら(左から田淵さん、中島さん、仲舘さん、林さん)。須磨消防署では消防団員を募集している。団員資格は18歳以上で須磨区在住か、同区の学校や企業に通っていること。詳しい問い合わせは須磨消防署(078-735-0119)まで。

神戸初の女子大生消防団員 須磨で活動中!

ゼミで知った消防団員の募集。林さんは「教育学科だから防災訓練とか将来役に立つかも」と友人の田淵さんも誘い入団した。田淵さんも「せっかく地域貢献できるんだし」と乗り気だったという。

消防団員としての活動はけがの手当や火の消し方といった知識を学んだり、地域の行事などで防災を呼びかけたりしている。しかし中島さんは「実際にメンバーが顔を合わせたのは5回目くらいかな」と話す。今が初めての女子大生消防団員ということもあって「(活動予定について)消防署の方も手探り状態みたい」だとか。昨年10月4日に行われた辞令公布式の出来事。マスコミからも注目

を集める中、中島さんと仲舘さんの2人でホース放水を演じた。ぶっつけ本番で、2人がかりでも重いホースを必死に抱え、水圧と闘った。「本当は10秒だけって話だったのに」。1年生の2人が夢中で話しこむ姿を3年生が少し呆れた表情で見守る。「あんまり会えないけどお互いに心を開いている。メンバーみ

んながリーダー」。4人全員が笑顔でうなずいた。
入団から半年にも満たない彼女たち。見せてくれた活動服もまだ折り目がはっきりと残る。それでも林さんは「責任感がついた」と胸をはる。たまたま人が倒れた現場に出くわした時、「AEDありますか」ととっさに声が出た。「今までの自分だったら多分知らないふりをしていた」と振り返る。消防団員の任期は1年間とあって3年生は今年で引退。林さんは公務員、田淵さんは小学校の先生という共に将来は地域に関わる現場で、社会貢献していきたいという。また、1年生の2人は「今年も続けて、後輩をいっぱい勧誘したい」と春が待ち遠しいようだ。

消防団女子はこれからも多くの人々に出会い、共に笑い合いながらひたむきに成長していく。
(聞き手 多田 隈翔一)



UNN 関西学生報道連盟

FOCUSは

神戸大学ニューズネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関学新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです